



山口市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、地球規模において、猛暑・豪雨・台風などの気象災害が多発しています。

2015年に採択されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇を2°C未満とし、1.5°Cに抑える努力をする」ことが世界共通の長期目標として掲げられ、この目標達成に向け、我が国も2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを宣言しました。

このような国内外の動向を踏まえ、地球温暖化という課題に向き合い、市民・事業者・市が相互に連携し、日々の生活や事業活動におけるエコな取組の実践、環境にやさしい移動手段の選択、リデュース・リユース・リサイクルの促進、再生可能エネルギー等利用設備の導入促進の取組などの地域脱炭素に向けた取組を積極的に進めていきます。

本市の地域課題の解決と地域の活性化に向けて、広大な市域を有する本市の自然、歴史、文化、産業、人材等といった地域資源を最大限活用し、地域脱炭素の取組を進め、持続的な本市の発展につなげるとともに、2050年ゼロカーボンシティを実現することとし、こうした取組に、市民・事業者・市が共に一体となって挑戦することを宣言します。

令和3年12月27日

山口市長 伊 藤 和 貴 (自署)